フィリピンと日ASEAN協力

高木佑輔（GRIPS）

日本ASEAN友好協力50周年有識者会議

2022年８月２９日

本日の構成

1. 日本への期待
2. フィリピン外交の概要
3. フェルディナンド・マルコス政権の今後
4. フィリピンと日ASEAN協力

1．日本への期待

10% weighting was applied to 2021 data resulting in a change of results.

ISEAS. *The State of Southeast Asia 2022, Survey Report*. (p. 33)

2-1. フィリピン外交概要

- フィリピン外交を形作る三つの主要アクターと関心事項

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
政権	グロリア・マカパガル・アロヨ									ベニグノ・アキノ						ロドリゴ・ドゥテルテ					
大統領	対米関係重視				対中接近						対中警戒/対米接近					対中接近/対米嫌悪					
外務省	ASEANメカニズムの重視										国際法重視					※国際法重視路線だが影響力後退					
国軍	国内治安重視											国軍近代化									

高木佑輔「フィリピンの対中外交―交錯する３つのアクターと３つの政策」竹中治堅編『「強国」中国と対峙するインド太平洋諸国』（千倉書房２０２２）

https://www.chikura.co.jp/category/select/pid/1120

3-1.フェルディナンド・マルコス政権発足１主要人事にみる継続と変化

- 主要経済閣僚
- B・ジョクノ財務大臣（前中央銀行総裁、元予算管理大臣（ドゥ政権とエ政権））
- A・パンガンダマン予算管理大臣（前中央銀行総裁補、元予算管理庁次官）
- A・バリサカンNEDA長官（前競争委員会委員長、元NEDA長官（Bアキノ政権））
- A・パスクアル貿易産業大臣（元ADBエコノミスト）
- R・ロティーリャエネルギー大臣（元エ大臣（アロヨ政権））
- その他主要人事
- F・マルコス農業大臣（大統領兼任）
- S・ドゥテルテ教育大臣（副大統領兼任）
- S・オプレ移住労働大臣（元労働省次官（アロヨ政権））
- B・レムリャ法務大臣（カビテ州選出の下院議員）
- J・カリダ会計検査院院長（前法務長官（SG）（ドゥ政権））

3-2. フェルディナンド・マルコス政権発足２ 外交・安全保障政策の行方

- 外務省

エンリケ・マナロ外務大臣（元外務大臣代行、前国連大使、元次官（07-10、16－20））

- 国防省

J・ファウスティーノ国防大臣（前参謀総長、元東ミンダナオ管区司令官）

3-3. 優先法案１／２（２０２２年７月時点）

	SONAで列挙された大統領にとっての優先法案1／2	経済	社会	デジタル	その他
1	National Government Rightsizing Program (NGRP)				1
2	Budget Modernization Bill	1			
3	Tax Package 3: Valuation Reform Bill	2			
4	Passive Income and Financial Intermediary Taxation Act (PIFITA)	3			
5	E-Government Act			1	
6	Internet Transaction Act or E-Commerce Law			2	
7	Government Financial Institutions Unified Initiatives to Distressed Enterprises for Economic Recovery (GUIDE)	4			
8	The Establishment of a Medical Reserve Corps		1		
9	National Disease Prevention Management Authority		2		
10	Creation of the Virology Institute of the Philippines		3		

3-4. 優先法案２／２ （２０２２年７月時点）

	SONAで列挙された大統領にとっての優先法案2／2	経済	社会	デジタル	安保	その他
11	Department of Water Resources					2
12	Unified System of Separation, Retirement and Pension		4			
13	E-Governance Act			3		
14	National Land Use Act					3
15	National Defense Act				1	
16	Mandatory Reserve Officers' Training Corps (ROTC) and National Service Training Program (NSTP)				2	
17	Enactment of an Enabling Law for the Natural Gas Industry	5				
18	Amendments to the Electric Power Industry Reform Act or EPIRA (Rep. Act No. 9136)	6				
19	Amendments to the Build-Operate-Transfer (BOT) Law	7				
計		7	4	3	2	3

3-5. マルコス政権に対する懸念

- 歴史修正主義の動き

- 反対勢力に対する弾圧

4. 政治・経済・社会の発展のための日ASEAN協力

- 「世界の中の日ASEAN」のための日比協力
  - 互いの強みを生かす人材育成協力（e.g. フィリピンのジェンダー平等）
  - FOIPのための国際貢献に資する人材育成（知日派養成は主目的ではなく、結果）
- 「アジアの中のフィリピン」を後押しする焦点としてのミンダナオへの注目：（e.g.日本・ フィリピン・インドネシアの海洋協力）

https://str.toyokeizai.net/books/9784492444634/